調 査 結 果 の 概 要

（1） 乳用牛

ア 飼養戸数・頭数

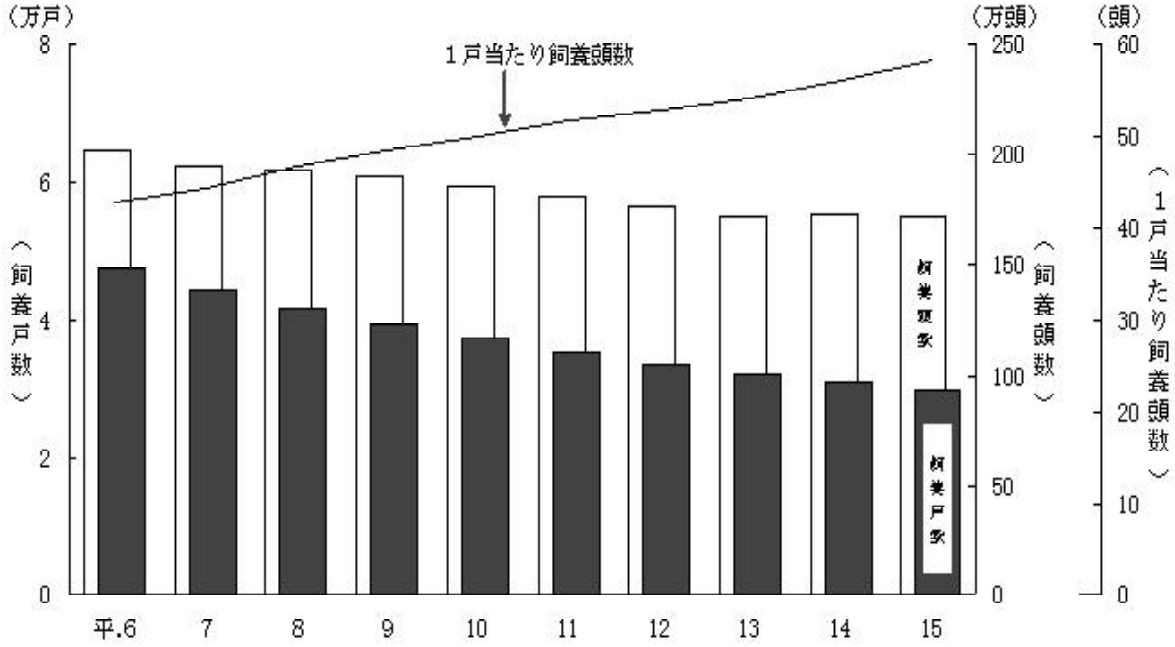
平成15年２月１日現在（以下「平成15年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は２万9,800戸で、前年に比べて1,200戸（3.9%)減少した。

飼養頭数は171万９千頭で、前年並みとなった。

この結果、１戸当たりの飼養頭数は、前年より２頭増加して58頭となった。

また、飼養頭数を経産牛と未経産牛別にみると、経産牛は112万頭、未経産牛は59万９千頭で、ともに前年並みとなった。

図１ 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移



第１表 乳用牛の飼養戸数・状態別飼養頭数

単位 { 戸数：戸 / 頭数：千頭 / 比率：％

区分		飼養戸数	飼養頭数 計	飼養頭数 経産牛 小計	飼養頭数 経産牛 搾乳牛	飼養頭数 経産牛 乾乳牛	飼養頭数 未経産牛	１戸当たり飼養頭数
								頭
実数	平. 13	32 200	1 725.0	1 124.0	971.3	153.1	600.8	54
	14	31 000	1 726.0	1 126.0	966.1	160.3	599.4	56
	15	29 800	1 719.0	1 120.0	964.2	156.0	598.6	58
対前年比	平. 13	95.8	97.8	97.7	97.9	97.0	97.8	1) 1
	14	96.3	100.1	100.2	99.5	104.7	99.8	1) 2
	15	96.1	99.6	99.5	99.8	97.3	99.9	1) 2
構成比	平. 13	-	100.0	65.2	56.3	8.9	34.8	-
	14	-	100.0	65.2	56.0	9.3	34.7	-
	15	-	100.0	65.2	56.1	9.1	34.8	-

注:1)は、対前年差である。

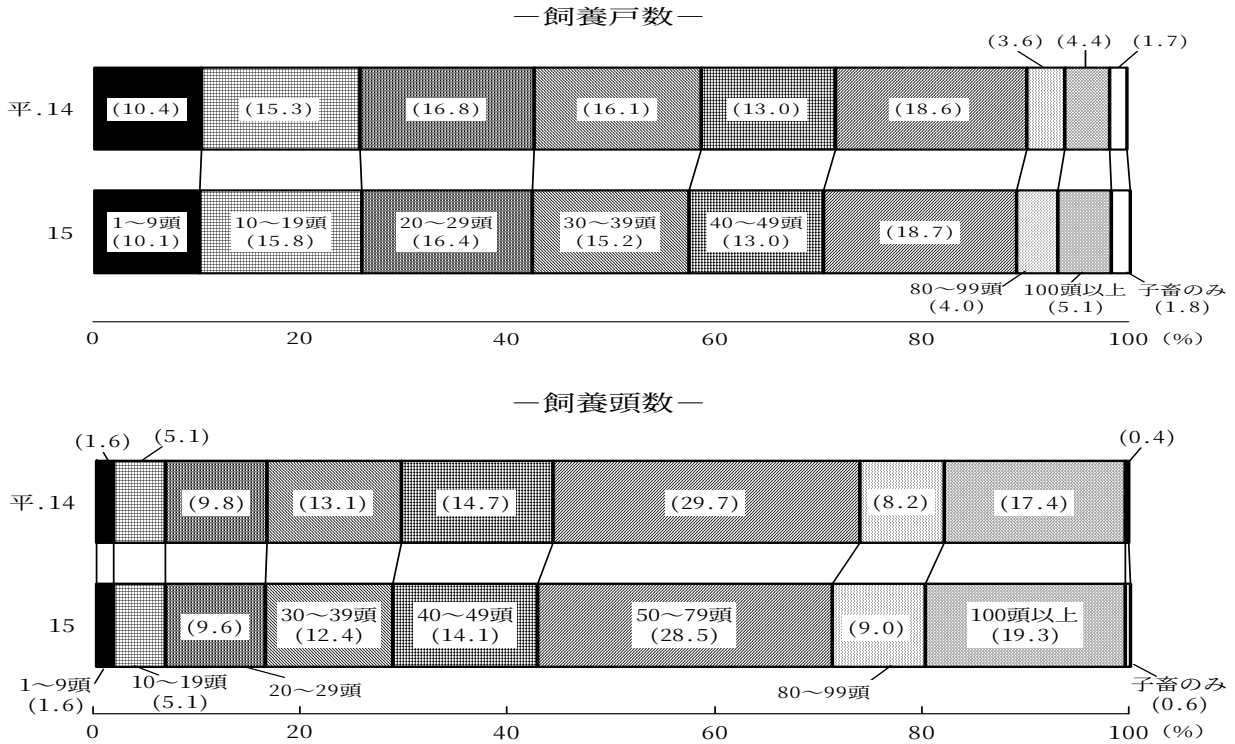
イ　成畜（満２歳以上の牛）飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

成畜（満２歳以上の牛）飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下、飼養頭（羽）数規模別飼養戸数・頭（羽）数において同じ。）にみると、飼養戸数は「80～99頭」及び「100頭以上」の階層で前年に比べてそれぞれ9.2%、11.0%増加したが、それ以外の階層では減少した。

また、飼養頭数は「80～99頭」及び「100頭以上」の階層で前年に比べてそれぞれ8.7%、10.0%増加した。

この結果、「80～99頭」及び「100頭以上」の階層の占める割合は、成畜飼養戸数で9.1%、成畜飼養頭数で28.3%となり、大規模飼養者層の割合が高まっている。

図２　乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合の推移



第２表　乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数

単位 { 戸数：戸 / 頭数：千頭 / 比率：%

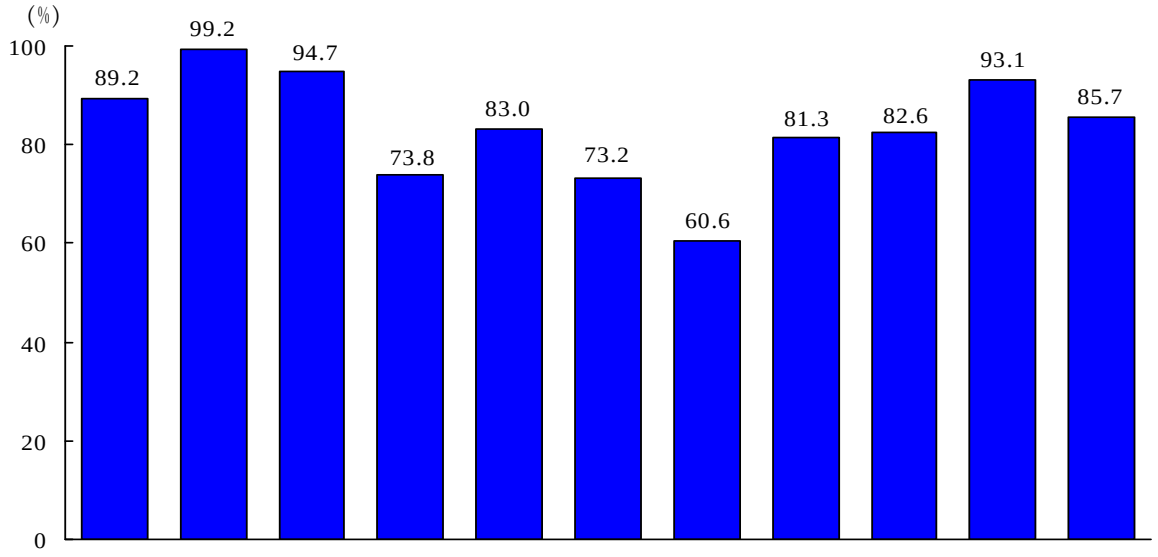
区分			計	成畜飼養頭数規模 小計	1～9頭	10～19	20～29	30～39	40～49	50～79	80～99	100頭以上	子畜のみ
飼養戸数	実数	平. 14	30 700	30 100	3 200	4 700	5 160	4 940	3 980	5 710	1 090	1 360	530
		15	29 500	29 000	2 980	4 650	4 840	4 480	3 830	5 510	1 190	1 510	530
	対前年比	平. 14	96.2	96.2	95.2	95.7	93.0	96.7	100.3	92.5	129.8	100.0	88.3
		15	96.1	96.3	93.1	98.9	93.8	90.7	96.2	96.5	109.2	111.0	100.0
	構成比	平. 14	100.0	98.0	10.4	15.3	16.8	16.1	13.0	18.6	3.6	4.4	1.7
		15	100.0	98.3	10.1	15.8	16.4	15.2	13.0	18.7	4.0	5.1	1.8
飼養頭数	実数	平. 14	1697.0	1690.0	27.4	86.7	166.7	223.1	249.2	503.2	138.6	295.0	7.5
		15	1683.0	1674.0	26.8	85.6	161.3	207.9	237.7	479.2	150.7	324.4	9.6
	対前年比	平. 14	99.6	99.6	93.5	96.9	94.8	95.7	105.1	92.8	131.5	104.1	103.7
		15	99.2	99.1	97.8	98.7	96.8	93.2	95.4	95.2	108.7	110.0	128.6
	構成比	平. 14	100.0	99.6	1.6	5.1	9.8	13.1	14.7	29.7	8.2	17.4	0.4
		15	100.0	99.5	1.6	5.1	9.6	12.4	14.1	28.5	9.0	19.3	0.6

ウ　乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、飼料作物を作付けしている戸数は２万6,300戸で乳用牛飼養者の89.2%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では99.2%とほとんどの飼養者が飼料作物を作付けしており、東北及び九州においても９割を超える飼養者が飼料作物を作付けしている。

図３　乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合



第３表　乳用牛飼養者の経営耕地・飼料作物作付面積の状況

単位 戸数：戸 面積：ha 比率：%

区　　分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	経営耕地面　積	飼料作物作付面積	飼料作物作付戸数割　合
全　国	29 500	26 300	538 200	494 200	89.2
北海道	9 160	9 090	442 400	414 200	99.2
東　北	4 750	4 500	38 700	33 800	94.7
北　陸	650	480	3 300	2 550	73.8
関東・東山	6 410	5 320	23 100	19 300	83.0
東　海	1 490	1 090	4 630	3 430	73.2
近　畿	1 270	770	2 700	1 530	60.6
中　国	1 550	1 260	5 960	4 670	81.3
四　国	920	760	1 880	1 320	82.6
九　州	3 180	2 960	15 300	13 100	93.1
沖　縄	140	120	220	210	85.7

（2） 肉用牛

ア　飼養戸数・頭数

平成15年の全国の肉用牛の飼養戸数は9万8,100戸で、前年に比べて6,100戸（5.9%）減少した。

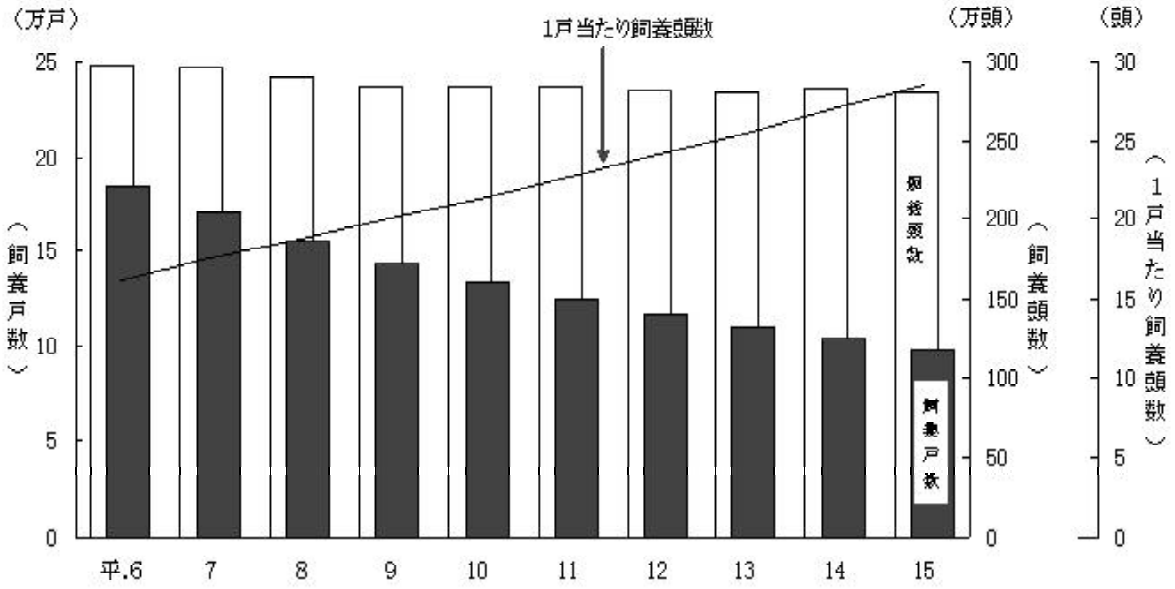
飼養頭数は280万５千頭で、前年に比べて３万３千頭（1.2%）減少した。

この結果、１戸当たりの飼養頭数は、前年より２頭増加して29頭となった。

また、飼養頭数を種類別にみると、肉用種は170万５千頭で、前年並みであったが、乳用種は110万１千頭で、前年に比べて２万６千頭（2.3%）減少した。

なお、乳用種のうち、ホルスタイン種他は47万１千頭、交雑種は63万頭で、前年に比べてそれぞれ１万２千頭（2.6%）、１万４千頭（2.1%）減少した。

図４　肉用牛の飼養戸数・頭数の推移



第４表　肉用牛の飼養戸数・種類別頭数

単位 { 戸数：戸 / 頭数：千頭 / 比率：%

区分			飼養戸数	飼養頭数 計	飼養頭数 肉用種	飼養頭数 乳用種 小計	飼養頭数 乳用種 ホルスタイン種他	飼養頭数 乳用種 交雑種	1戸当たり飼養頭数
									頭
実数	平.	13	110 100	2 806.0	1 679.0	1 126.0	444.3	681.9	25
		14	104 200	2 838.0	1 711.0	1 127.0	483.2	643.5	27
		15	98 100	2 805.0	1 705.0	1 101.0	470.7	629.8	29
対前年比	平.	13	94.5	99.4	98.8	100.2	96.4	102.8	1) 1
		14	94.6	101.1	101.9	100.1	108.8	94.4	1) 2
		15	94.1	98.8	99.6	97.7	97.4	97.9	1) 2
構成比	平.	13	-	100.0	59.8	40.1	15.8	24.3	-
		14	-	100.0	60.3	39.7	17.0	22.7	-
		15	-	100.0	60.8	39.3	16.8	22.5	-

注:1)は、対前年差である。

イ　飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

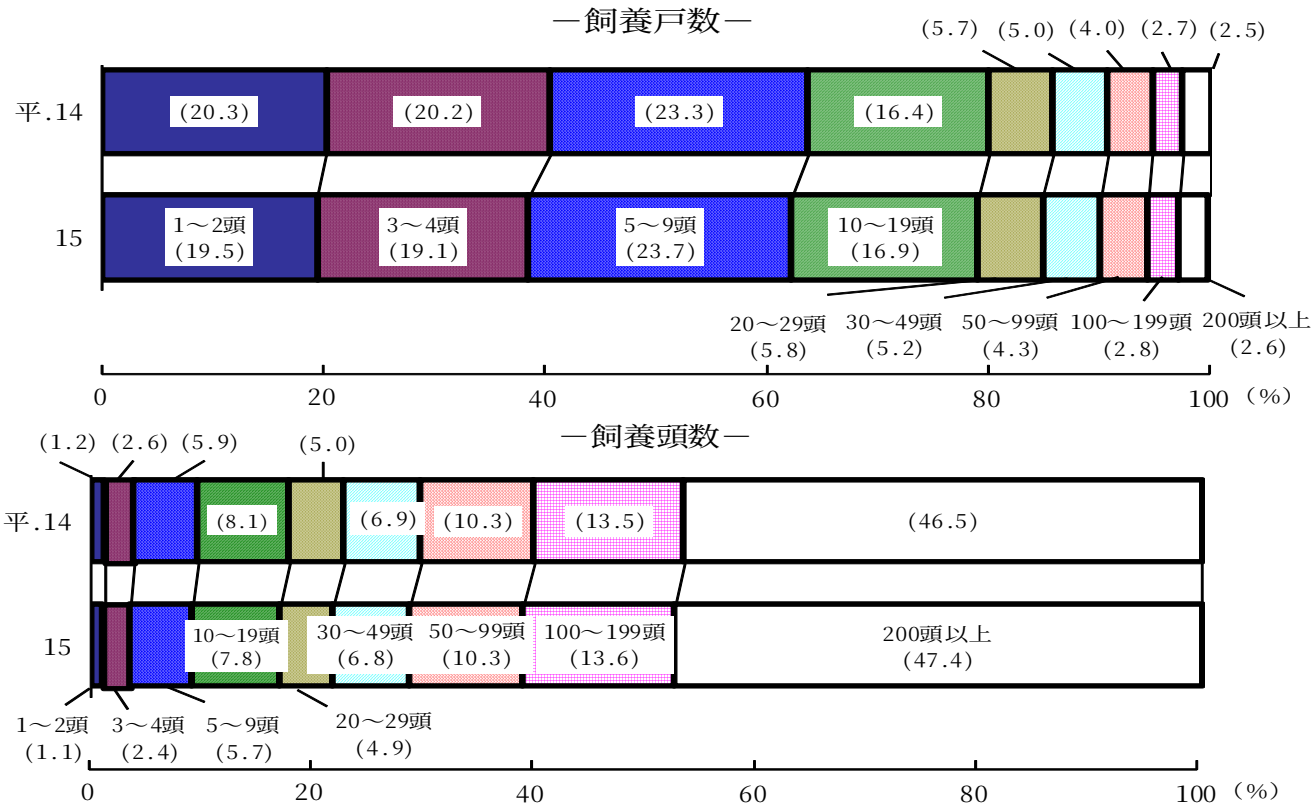
（ア）総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別にみると、飼養戸数は「50～99頭」の階層で前年に比べて1.7%増加したが、それ以外の階層では減少した。

飼養頭数は「200頭以上」の階層で前年に比べて1.0%増加したが、それ以外の階層では減少した。

この結果、「200頭以上」の階層の占める割合は、飼養戸数で2.6%、飼養頭数で47.4%となり、大規模飼養者層の割合が高まっている。

図５　肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合の推移



第５表　肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

単位 { 戸数：戸 / 頭数：千頭 / 比率：% }

区分			計	1～2頭	3～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上
飼養戸数	実数	平. 14	103 700	21 000	20 900	24 200	17 000	5 960	5 220	4 150	2 780	2 600
		15	97 700	19 100	18 700	23 200	16 500	5 710	5 090	4 220	2 750	2 580
	対前年比	平. 14	94.5	85.7	97.2	92.7	101.8	96.0	102.0	98.8	98.9	101.6
		15	94.2	91.0	89.5	95.9	97.1	95.8	97.5	101.7	98.9	99.2
	構成比	平. 14	100.0	20.3	20.2	23.3	16.4	5.7	5.0	4.0	2.7	2.5
		15	100.0	19.5	19.1	23.7	16.9	5.8	5.2	4.3	2.8	2.6
飼養頭数	実数	平. 14	2 794.0	33.6	73.9	163.5	227.0	140.3	192.0	288.0	378.2	1 298.0
		15	2 765.0	30.1	65.5	157.3	215.7	135.9	189.3	284.6	375.6	1 311.0
	対前年比	平. 14	100.6	84.0	100.1	93.0	100.8	95.3	100.3	99.2	97.8	104.3
		15	99.0	89.6	88.6	96.2	95.0	96.9	98.6	98.8	99.3	101.0
	構成比	平. 14	100.0	1.2	2.6	5.9	8.1	5.0	6.9	10.3	13.5	46.5
		15	100.0	1.1	2.4	5.7	7.8	4.9	6.8	10.3	13.6	47.4

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

（イ）肉用牛飼養種類別の頭数規模別飼養戸数

a　子取り用めす牛（肉用種）

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は肉用牛飼養戸数の86.5%となっている。

飼養頭数規模別にみると「20～29頭」、「30～49頭」及び「50～99頭」の階層で前年に比べて増加したが、それ以外の階層では減少した。

第６表　子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位 { 戸数：戸 / 比率：%

区分			肉用牛の飼養戸数	子取り用めす牛飼養頭数規模 小計	1頭	2	3～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100頭以上	子取り用めす牛なし
飼養戸数	実数	平. 14	103 700	89 400	14 400	18 400	19 400	21 200	10 200	2 840	1 830	840	270	14 300
		15	97 700	84 500	12 700	16 700	18 500	20 400	9 940	3 090	1 980	980	260	13 200
	対前年比	平. 14	94.5	94.7	85.2	95.8	95.1	96.4	100.0	101.4	95.8	118.3	108.0	92.9
		15	94.2	94.5	88.2	90.8	95.4	96.2	97.5	108.8	108.2	116.7	96.3	92.3
	構成比	平. 14	100.0	86.2	13.9	17.7	18.7	20.4	9.8	2.7	1.8	0.8	0.3	13.8
		15	100.0	86.5	13.0	17.1	18.9	20.9	10.2	3.2	2.0	1.0	0.3	13.5

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

b　肥育用牛（肉用種）

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は肉用牛飼養戸数の14.7%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「100～199頭」の階層は前年に比べて増加したが、それ以外の階層では前年並み若しくは減少した。

第７表　肥育用牛（肉用種）の飼養頭数規模別飼養戸数

単位 { 戸数：戸 / 比率：%

区分			肉用牛の飼養戸数	肥育用牛飼養頭数規模 小計	1～2頭	3～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	肥育用牛なし
飼養戸数	実数	平. 14	103 700	15 600	3 390	1 580	1 950	2 330	1 290	1 480	1 600	1 140	790	88 200
		15	97 700	14 400	2 920	1 390	1 960	1 890	1 280	1 430	1 510	1 250	780	83 300
	対前年比	平. 14	94.5	98.7	99.1	89.8	91.1	113.1	103.2	96.7	92.5	100.9	100.0	93.9
		15	94.2	92.3	86.1	88.0	100.5	81.1	99.2	96.6	94.4	109.6	98.7	94.4
	構成比	平. 14	100.0	15.0	3.3	1.5	1.9	2.2	1.2	1.4	1.5	1.1	0.8	85.1
		15	100.0	14.7	3.0	1.4	2.0	1.9	1.3	1.5	1.5	1.3	0.8	85.3

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

c　乳用種

乳用種を飼養している戸数は肉用牛飼養戸数の7.9%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「20～29頭」の階層で前年に比べて増加したが、それ以外の階層では減少した。

第８表　乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

単位 { 戸数：戸 / 比率：%

区分			肉用牛の飼養戸数	乳用種飼養頭数規模 小計	1～2頭	3～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	乳用種なし
飼養戸数	実数	平. 14	103 700	8 390	930	620	900	910	540	740	1 120	1 100	1 530	95 300
		15	97 700	7 740	800	590	720	800	570	680	1 020	1 040	1 520	90 000
	対前年比	平. 14	94.5	96.0	116.3	117.0	92.8	96.8	84.4	91.4	87.5	88.7	100.7	94.4
		15	94.2	92.3	86.0	95.2	80.0	87.9	105.6	91.9	91.1	94.5	99.3	94.4
	構成比	平. 14	100.0	8.1	0.9	0.6	0.9	0.9	0.5	0.7	1.1	1.1	1.5	91.9
		15	100.0	7.9	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	1.0	1.1	1.6	92.1

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

（3） 豚

ア　飼養戸数・頭数

平成15年の全国の豚の飼養戸数は９千430戸で、前年に比べて570戸（5.7%)減少した。

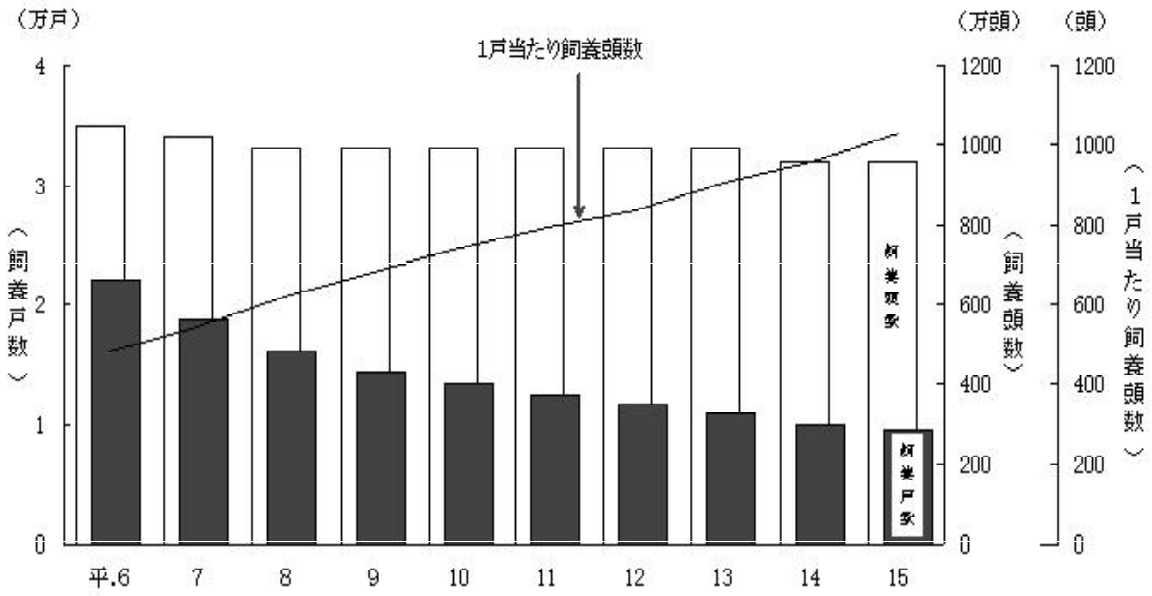
飼養頭数は972万５千頭で、前年に比べて11万３千頭（1.2%）増加した。

この結果、１戸当たりの飼養頭数は、前年より70頭増加して1,031頭となった。

また、飼養頭数のうち、子取り用めす豚飼養頭数は92万９千頭で前年に比べ１万３千頭(1.4%)増加した。

なお、１戸当たり子取り用めす豚飼養頭数は、前年より８頭増加して112頭となった。

図６　豚の飼養戸数・頭数の推移



第９表　豚の飼養戸数・種類別飼養頭数

単位 { 戸数：戸 / 頭数：千頭 / 比率：% }

区分			飼養戸数		飼養頭数					1戸当たり飼養頭数	
				子取り用めす豚のいる戸数	計	子取り用めす豚	種おす豚	肥育豚	その他		子取り用めす豚
										頭	頭
実数	平.	13	10 800	9 450	9 788.0	921.5	67.9	8 214.0	584.9	906	98
		14	10 000	8 790	9 612.0	916.4	67.9	8 028.0	599.0	961	104
		15	9 430	8 290	9 725.0	929.3	66.0	8 057.0	673.0	1 031	112
対前年比	平.	13	92.3	91.7	99.8	99.2	96.2	100.1	97.9	1) 68	1) 8
		14	92.6	93.0	98.2	99.4	100.0	97.7	102.4	1) 55	1) 6
		15	94.3	94.3	101.2	101.4	97.2	100.4	112.4	1) 70	1) 8
構成比	平.	13	100.0	87.5	100.0	9.4	0.7	83.9	6.0	-	-
		14	100.0	87.9	100.0	9.5	0.7	83.5	6.2	-	-
		15	100.0	87.9	100.0	9.6	0.7	82.8	6.9	-	-

注:1)は、対前年差である。

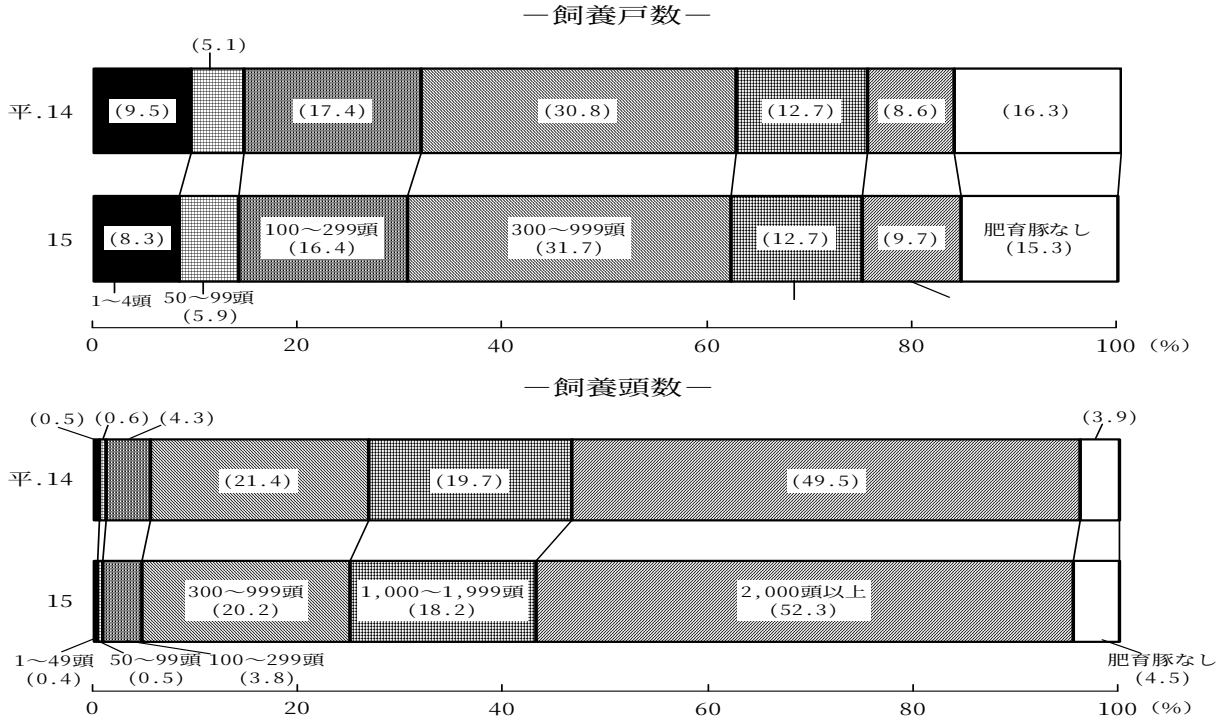
イ　飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肥育豚飼養頭数規模別にみると、飼養戸数は「50～99頭」、「2,000頭以上」の階層で前年に比べてそれぞれ8.0%、6.0%増加したが、それ以外の階層では減少した。

飼養頭数は「１～９頭」、「2,000頭以上」の階層で前年に比べてそれぞれ9.4%、6.8%増加したが、それ以外の階層で減少した。

この結果、「1,000～1,999頭」及び「2,000頭以上」の階層の占める割合は、飼養戸数で22.4%、飼養頭数で70.5%となり、大規模飼養者層の割合が高まっている。特に、飼養頭数については、「2,000頭以上」の階層では52.3%と５割を占めている。

図７　豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合の推移



第10表　豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

単位 { 戸数：戸 / 頭数：千頭 / 比率：%

区分			計	肥育豚飼養頭数規模 小計	1～9頭	10～29	30～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1,000～1,999	2,000頭以上	肥育豚なし
飼養戸数	実数	平. 14	9 780	8 190	270	350	300	500	1 700	1 210	1 800	1 240	840	1 590
		15	9 190	7 790	220	290	260	540	1 510	1 170	1 740	1 170	890	1 410
	対前年比	平. 14	92.3	93.9	103.8	92.1	88.2	80.6	95.5	96.0	90.5	98.4	100.0	86.4
		15	94.0	95.1	81.5	82.9	86.7	108.0	88.8	96.7	96.7	94.4	106.0	88.7
	構成比	平. 14	100.0	83.7	2.8	3.6	3.1	5.1	17.4	12.4	18.4	12.7	8.6	16.3
		15	100.0	84.8	2.4	3.2	2.8	5.9	16.4	12.7	18.9	12.7	9.7	15.3
飼養頭数	実数	平. 14	9 549.0	9 174.0	8.4	18.3	19.8	57.3	410.3	576.2	1 468.0	1 885.0	4 730.0	375.3
		15	9 658.0	9 228.0	9.2	12.8	17.8	53.1	368.2	515.1	1 440.0	1 758.0	5 054.0	430.5
	対前年比	平. 14	98.2	98.2	82.9	82.1	80.8	94.1	97.5	107.0	90.6	96.7	100.9	96.4
		15	101.1	100.6	109.4	69.9	89.9	92.7	89.7	89.4	98.1	93.3	106.8	114.7
	構成比	平. 14	100.0	96.1	0.1	0.2	0.2	0.6	4.3	6.0	15.4	19.7	49.5	3.9
		15	100.0	95.5	0.1	0.1	0.2	0.5	3.8	5.3	14.9	18.2	52.3	4.5

注：肥育豚飼養頭数規模別戸数・頭数には、学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

（4） 採卵鶏

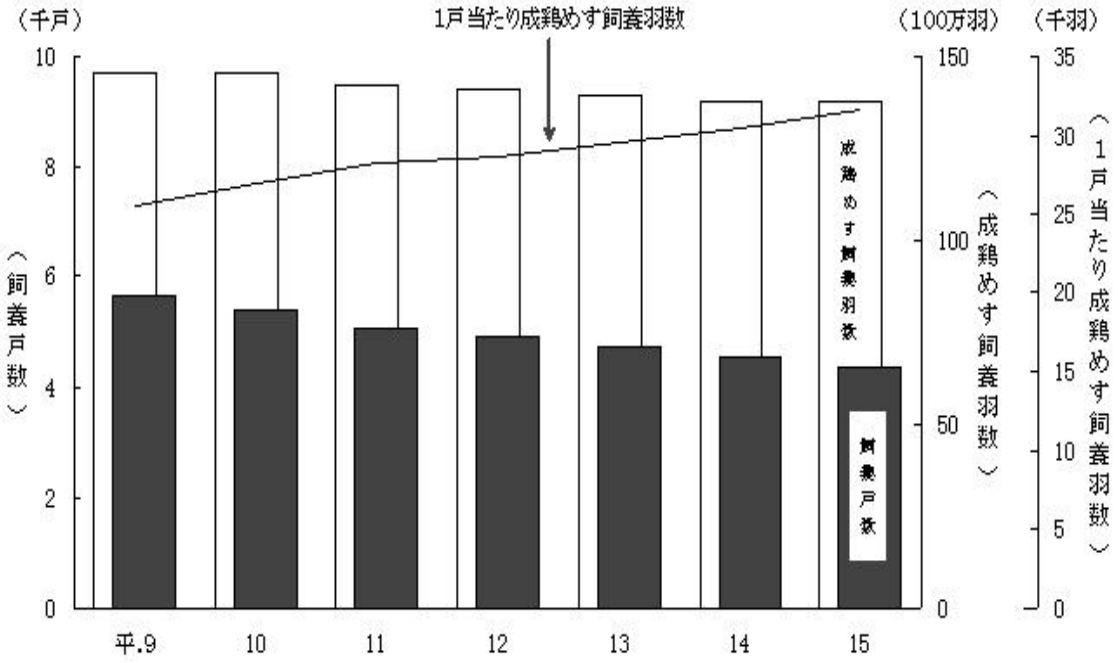
ア 飼養戸数・羽数

平成15年の全国の採卵鶏の飼養戸数（種鶏のみの飼養者及び成鶏めす羽数１千羽未満の飼養者を除く。以下同じ）は4,340戸で、前年に比べて190戸（4.2%)減少した。

成鶏めすの飼養羽数は１億3,729万９千羽で、前年並みとなった。

この結果、１戸当たりの成鶏めす飼養羽数は、前年に比べ1,200羽増加し３万1,600羽となった。

図８ 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



第11表 採卵鶏の飼養戸数・羽数

単位 戸数：戸 羽数：千羽 比率：%

区分			飼養戸数		飼養羽数			1戸当たり成鶏めす飼養羽数
				採卵鶏（種鶏のみの飼養者を除く）	計	採卵鶏（種鶏を除く）	成鶏めす（6か月以上）	
								羽
実数	平.	13	5 150	4 720	186 202	177 396	139 248	29 500
		14	4 760	4 530	181 746	177 447	137 718	30 400
		15	4 530	4 340	180 213	176 049	137 299	31 600
対前年比	平.	13	96.6	96.5	99.4	99.4	99.2	1) 800
		14	92.4	96.0	97.6	100.0	98.9	1) 900
		15	95.2	95.8	99.2	99.2	99.7	1) 1 200
構成比	平.	13	100.0	91.7	100.0	95.3	74.8	-
		14	100.0	95.2	100.0	97.6	75.8	-
		15	100.0	95.8	100.0	97.7	76.2	-

注：1 1)は対前年差である。
2 飼養戸数は成鶏めす羽数1千羽未満の飼養者を除く数値である。（以下、各表において同じ。）

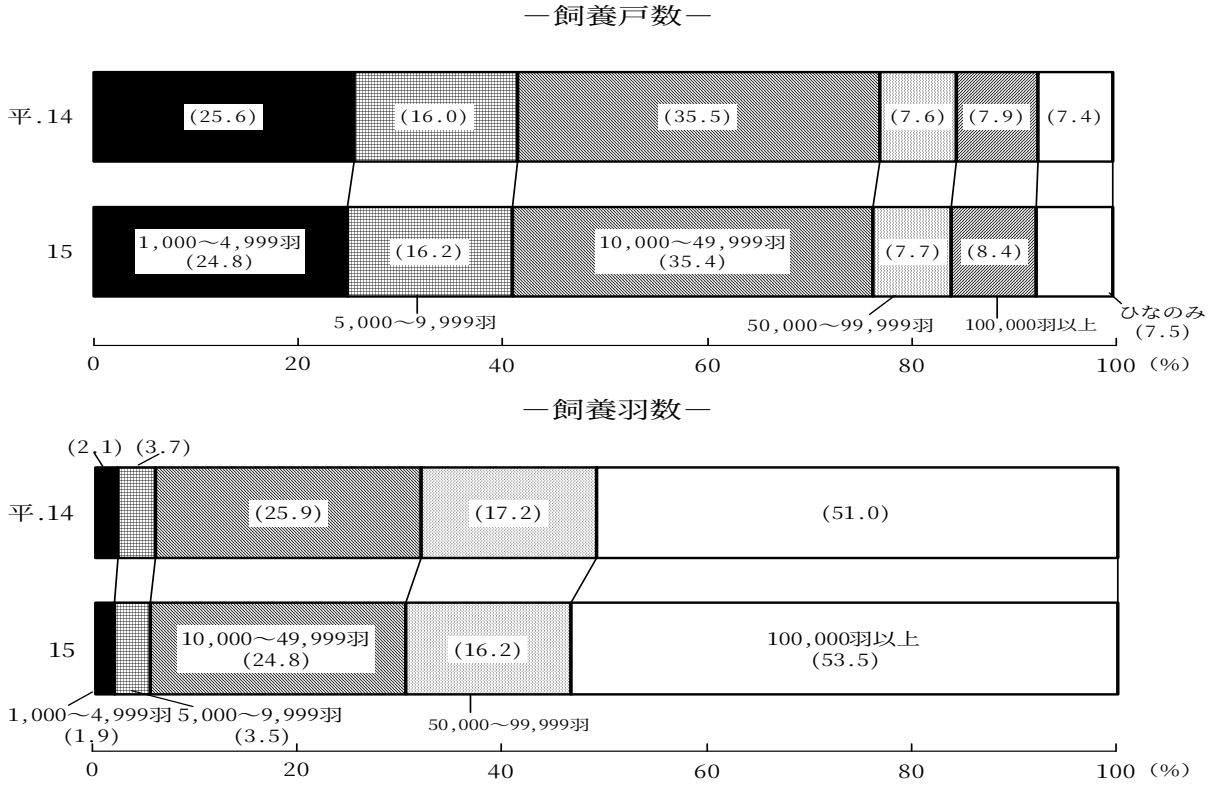
イ　採卵鶏の成鶏めす羽数規模別飼養戸数・羽数

採卵鶏の成鶏めす飼養羽数規模別にみると、飼養戸数は「10万羽以上」の階層で前年に比べて2.9%増加したが、それ以外の階層では減少した。

飼養羽数は、「10万羽以上」の階層で前年に比べて4.5%増加したが、それ以外の階層では減少した。

この結果、「10万羽以上」の階層の占める割合は、飼養戸数で8.4%、飼養羽数で53.5%となり、大規模階層飼養者の割合が高まっている。

図９　採卵鶏の成鶏めす羽数規模別飼養戸数・羽数割合の推移



第12表　採卵鶏の成鶏めす羽数規模別飼養戸数・羽数

単位　戸数:戸　羽数:千羽　比率:%

区分			計	成鶏めす羽数規模 1,000～4,999	5,000～9,999	10,000～49,999	50,000～99,999	100,000羽以上	ひなのみ
飼養戸数	実数	平. 14	4 450	1 140	710	1 580	340	350	330
		15	4 270	1 060	690	1 510	330	360	320
	対前年比	平. 14	95.3	90.5	93.4	95.2	100.0	102.9	106.5
		15	96.0	93.0	97.2	95.6	97.1	102.9	97.0
	構成比	平. 14	100.0	25.6	16.0	35.5	7.6	7.9	7.4
		15	100.0	24.8	16.2	35.4	7.7	8.4	7.5
飼養羽数	実数	平. 14	137 087	2 929	5 100	35 460	23 635	69 963	-
		15	136 603	2 601	4 784	33 944	22 190	73 084	-
	対前年比	平. 14	98.7	97.1	96.6	93.3	101.5	101.0	-
		15	99.6	88.8	93.8	95.7	93.9	104.5	-
	構成比	平. 14	100.0	2.1	3.7	25.9	17.2	51.0	-
		15	100.0	1.9	3.5	24.8	16.2	53.5	-

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

（１）　ふ化羽数及び出荷羽数

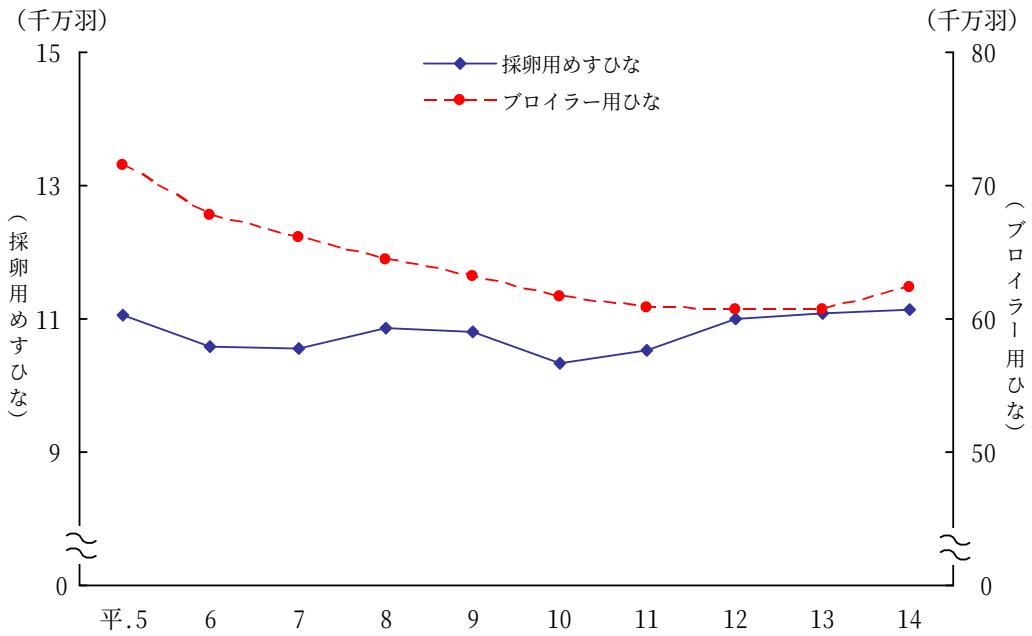
ア　採卵用めすひな

平成14年（１月～12月）の全国の採卵用めすひなのふ化羽数は１億1,744万９千羽、出荷羽数は１億1,152万３千羽で、いずれも前年並みとなった。

イ　ブロイラー用ひな

平成14年（１月～12月）の全国のブロイラー用ひなのふ化羽数は６億3,961万羽、出荷羽数は６億2,361万羽で、前年に比べていずれも増加した。

図１　出荷羽数の推移（全国）



第１表　ふ化羽数及び出荷羽数

単位 { 羽数：千羽 / 比率：％

区分			平.5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
採卵用めすひな	ふ化羽数	実数	116 360	111 720	111 543	114 374	113 849	109 309	111 269	115 857	117 236	117 449
		対前年比	100.3	96.0	99.8	102.5	99.5	96.0	101.8	104.1	101.2	100.2
	出荷羽数	実数	110 671	105 741	105 662	108 573	107 998	103 405	105 387	109 867	110 806	111 523
		対前年比	100.6	95.5	99.9	102.8	99.5	95.7	101.9	104.3	100.9	100.6
ブロイラー用	ふ化羽数	実数	733 628	696 342	678 561	659 923	647 613	629 968	624 657	621 746	623 380	639 610
		対前年比	98.4	94.9	97.4	97.3	98.1	97.3	99.2	99.5	100.3	102.6
	出荷羽数	実数	714 705	678 433	661 237	644 020	632 136	616 177	608 972	606 599	607 197	623 610
		対前年比	98.2	94.9	97.5	97.4	98.2	97.5	98.8	99.6	100.1	102.7

（２）　全国農業地域別え付け羽数

ア　採卵用めすひな

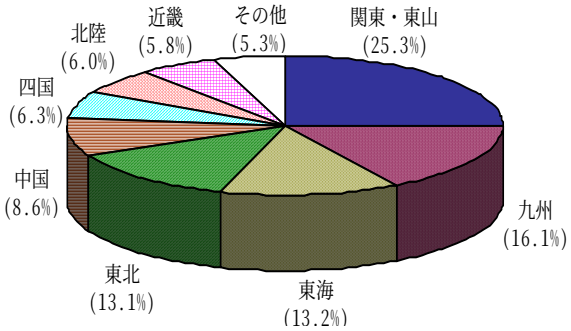
採卵用めすひなの全国農業地域別え付け羽数をみると、東北、近畿ではそれぞれ3.5%、10.6%減少したが、それ以外の地域では前年並み、若しくは増加した。

イ　ブロイラー用ひな

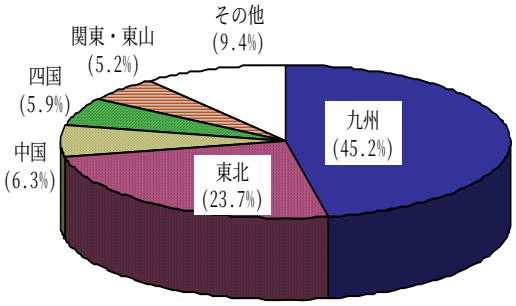
ブロイラー用ひなの全国農業地域別え付け羽数をみると、東海では3.7%、沖縄では2.8%減少したが、その他の地域では増加した。

図２　全国農業地域別え付け羽数の割合

［採卵用めす］



［ブロイラー用］



注）え付け羽数の全国割合が5.0%の地域については「その他」とした。

第２表　全国農業地域別え付け羽数の割合

単位 ｛羽数：千羽 比率：%

区分			全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
採卵用めすひな	実数	平.13年	110 806	4 868	15 081	6 560	28 158	14 374	7 280	9 111	6 446	18 031	897
		14年	111 523	5 040	14 556	6 718	28 240	14 722	6 506	9 799	7 030	18 005	907
	対前年比	平.13年	100.9	93.8	99.1	103.7	105.1	95.4	107.6	97.6	96.4	102.7	97.3
		14年	100.6	103.5	96.5	102.4	100.3	102.4	89.4	107.6	109.1	99.9	101.1
	構成比	平.13年	100.0	4.4	13.6	5.9	25.4	13.0	6.6	8.2	5.8	16.3	0.8
		14年	100.0	4.5	13.1	6.0	25.3	13.2	5.8	8.8	6.3	16.1	0.8
ブロイラー用	実数	平.13年	607 197	25 804	144 753	5 560	31 403	24 481	24 624	37 592	35 277	274 265	3 428
		14年	623 610	26 514	147 997	6 168	32 374	23 577	25 503	39 269	36 767	282 110	3 331
	対前年比	平.13年	100.1	103.2	98.1	86.3	99.2	96.7	98.4	102.8	54.0	101.7	96.3
		14年	102.7	102.8	102.2	110.9	103.1	96.3	103.6	104.5	104.2	102.9	97.2
	構成比	平.13年	100.0	4.2	23.8	0.9	5.2	4.0	4.1	6.2	5.8	45.2	0.6
		14年	100.0	4.3	23.7	1.0	5.2	3.8	4.1	6.3	5.9	45.2	0.5